

【施設状況】

グループ名称	戸隠交流集会施設(森林囃子、ふるさとセンター)										
指定管理者名	長野県高齢者生活協同組合						法人番号	9100005001801			
所管課	主	150820	観光振興課 北部産業振興事務所	副							
構成施設	2167	戸隠交流集会施設(森林囃子、ふるさとセンター)									
施設分類	04	レクリエーション型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制		
施設概要	【森林囃子】 平成12年6月設置、木造平屋建 延床面積370.57㎡(風呂2箇所、トレーニングルーム、休憩室等) 付帯施設 マレットゴルフ場18ホール、ゲートボール場1面 【ふるさとセンター】 昭和57年12月設置、木造平屋建 延床面積673.62㎡(大・小会議室等)										
施設設置目的	市民の健康及び福祉の増進並びに文化の向上を図るため										
基本方針等	市民の健康と福祉の増進を図るため、及び観光振興の拠点として、市民に対しより開かれた身近な施設となるような運営を行い、集客力の向上を図る。また、利用者が世代を超えて交流のできる、地域に根ざした施設となることを目指す。										
主な実施事業	温泉浴室・トレーニングルーム 午前10時～午後8時 マレットゴルフ場・ゲートボール場 午前8時30分～午後5時 ふるさとセンター 午前8時30分～午後10時										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名		長野県高齢者生活協同組合			当該指定管理者の 指定回数		4回	
指定期間		令和4年4月1日～令和9年3月31日5年			当該指定管理者の 管理運営開始日		平成21年4月1日	
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。							評価 3
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)							

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年比	3
	森林囃子(日帰り入浴者数)	人	10,191	11,613	12,326	12,308	100%	
	ふるさとセンター(貸館利用者数)	人	862	1,019	862	991	115%	
	(特記事項) 昨今の物価高騰により、令和7年4月1日より日帰り温泉の利用料金を値上げ (中学生以上410円→500円、回数券11回券4,100円→10回券3,900円)							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	・利用者の受付業務 ・温泉業務 ・売店業務 ・施設維持管理			・コロナ禍で短縮していた温泉浴室の営業時間を夜8時までに戻した。			
	自主事業	・中山間地の農産物市(地域の販売者を運営委員として協力) ・交流祭の実施 ・地域の施設と協働した利用者サービス(割引プラン)			・送迎の個別対応(4名以上の団体から)の8月までの実施 ・カラオケ(ふるさとセンター)機器による利用サービス ・地元産の豆菓子、味噌の販売を地域の業者と連携して販売 ・交流祭は天候不良により日程の調整がつかず、見送った。			
サービス維持・向上の取組み(広報等)		・近隣他施設に施設の案内チラシ及び割引プランのチラシを配布。案内チラシには、日常の施設のお知らせのほか、戸隠地区の観光案内も掲載するなど、地域としてのお知らせにも努めた。 ・複数の観光媒体に割引券を掲載(わくわく、おでかけ、観光雑誌「こまち」)した。わくわくチケットは近隣施設で配布依頼を実施。施設特定日(もくもくの日)の割引は継続して実施。又連休など観光客が見込まれる時期には臨時開館を実施し、利用向上に努めた(8/13)						

3 利用者評価

区分		内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート		3
	(2) 調査、会議等の内容 ・館内に、「利用者の声」コーナーとして、意見箱を設置し、来館者からの広い意見を求めている。 ・日常的な利用者とのコミュニケーションを通じて、要望・苦情の把握に努めている。 ・農産物の提供者から直接の意見を聞き、より良い販売の場の提供に努めている。また、購入者からの意見も伺い、提供者にお伝えすることでよりニーズにあった産物とサービスの提供に努めた。 ・「戸隠地区住民自治協議会」を通じて、要望等の把握を行い、マレットゴルフ場の利用促進と併せ、雨天時の館内でのレクリエーションなどを提案することで、予定した利用が中止とならないように取り組んでおり、ふるさとセンターの利用促進につなげている。			
	(3) 調査、会議等の結果 ・苦情・要望等に対し、職員間での話し合いの上、即時改善可能なものは改善し、予算が必要なこと等は、改善に向けて調整等を行った。 ・高齢化が進んだ地域であることと、衛生管理の面からも職員による必要な感染予防対策は維持した。			
利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価 ・浴室が綺麗で気持ちがい。窓から見える生垣もきれいに整備されている。 ・マレットゴルフ場の芝生の手入れが行き届いており、使いやすい。 ・窓口で、利用に該当する割引を紹介してくれるのがうれしい。 ・インターネットで館の情報が紹介されているので、情報がわかり利用しやすい。 ・静養室の利用料金のみでカラオケが自由にできるのがうれしい。また、野菜が安くて新鮮なのでうれしい。			
	(2) 苦情・改善等の要望事項 ・畳の部屋(ふるさとセンター)で打ち合わせ時に机、椅子を使用したい。 ・ふるさとセンタートイレの人影が見える(離れた場所から) ・定期入浴券を発行してほしい。			
	《対応措置》 ・畳の部屋での机、椅子の使用は畳が傷む恐れがあるため、会議室の利用方法について検討する ・トイレ入口に目隠しカーテンを設置することで対応 ・回数券の利用を推奨しているが、定期券については経費に関係するため検討する			

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和7年度)				市の収支				評価		
		年度計画額		収支実績額			令和7年度決算			令和6年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額
	指定事業	利用料金	5,944,000	利用料金	5,214,940	歳入	使用料			使用料	
指定管理料		9,390,000	指定管理料	9,390,000	雑(納付金)			雑(納付金)			
委託料			委託料		行政財産目的外使用料			行政財産目的外使用料			
販売収入等			販売収入等		貸付料			貸付料			
その他収入			その他収入		その他			その他			
			R6年度補填額	529,308	利益配分		利益配分				
収入計		15,334,000	収入計	15,134,248	計	0	計	0			
人件費		8,517,000	人件費	9,408,354	歳出	指定管理料	9,390,000	指定管理料	9,390,000		
設備管理費		620,000	設備管理費	816,322		委託料	110,000	委託料			
備品購入費		202,000	備品購入費	318,025		需用費		需用費			
修繕費		200,000	修繕費	450,208		役務費		役務費			
光熱水費		4,392,000	光熱水費	5,598,103		使用料・賃借料	23,760	使用料・賃借料	23,760		
事業費		445,000	事業費	308,342		修繕費		修繕費			
事務経費		2,000	事務経費	2,756		工事請負費		工事請負費			
本社経費		614,000	本社経費	614,000		備品購入費		備品購入費			
その他		592,000	その他	713,348		その他		その他			
			利益配分			R6年度補填	529,308	R5年度補填	616,398		
支出計		15,584,000	支出計	18,229,458		計	10,053,068	計	10,030,158		
指定事業損益	-250,000	指定事業損益	-3,095,210								
利益配分を除く 指定事業損益	-250,000	利益配分を除く 指定事業損益	-3,095,210								
自主事業	収入	300,000	収入					275,353			
	支出	50,000	支出					103,859			
	自主事業損益	250,000	自主事業損益	171,494							
損益	0		-2,923,716		差引	-10,053,068		-10,030,158			
人件費比率【人件費(賃金等)／令和7年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									51.6%		
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由											

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分			確認内容	チェック欄	評価
管理運営全般	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか		☒	3
		配置実績 (うち市内雇用職員数)	常勤1名、非常勤11名(うち7名戸隠在住)		
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		☒	
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		☒	
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
	施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		☒	
2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか					
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		☒		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか				

危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。 協定内容・指定管理者提案 追加された内容、未実施の内容及びその理由 ・地域で取れた農産物の仕入と利用者への安価での提供による、戸隠農産物の宣伝と活性化 ・周辺施設と連携し観光利用促進(割引プラン・チラシの配布等で利用促進) ・送迎の個別対応 ・「戸隠地区住民自治協議会」を通じて、要望等の把握 ・戸隠で栽培された豆を加工した味噌商品、豆菓子を地元業者と連携し、施設で販売。	3

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	合計得点 60 指定管理者の健全性 施設の有効活用 利用者評価 事業収支 管理運営全般 危機管理体制 地域連携 ----- 基準値
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	3	12	
事業収支	3	12	
管理運営全般	3	6	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	
総合評価			

評価理由	・地元の農家から農産物を仕入れ、地元で栽培された豆を加工した味噌商品や豆菓子を施設で販売するなど、地域連携を積極的に図っている。 ・令和7年4月から入浴料金の増額改定を行ったが、関連施設にわくわくチケット等の割引券を配布するなどの営業努力により温浴施設の利用者数は対前年比100%となり、利用料金収入が増加したことは評価する。		
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	・収支の改善を図る。 ・老朽化した施設内の改修、機械設備を協議する。	・日帰り入浴料金の改定を行ったことで、利用料金収入が増加した。 ・老朽化している箇所の把握と指定管理者と優先順位の確認をした。	
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	・収入は増加したものの、人件費、光熱水費などの支出も増加していることから、施設の利用状況などの研究を進め指定管理者と連携しながら収支の改善策を検討する。 ・施設の老朽化が進んでいるため、今後の設備更新や修繕の検討を進めていく。 ・指定管理者と連携しながら施設内外の環境維持を継続し、周辺景観を含め観光施設としての価値の向上を図る。		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

職員同士の意思疎通及び自主意識の向上が施設の今後のサービスに大きく影響するため、そのための勤務環境・考え方の育成に心がけている。

- 1) 定期的スタッフミーティングによる各々の要望と考えを重要視している。また、高齢協が運営する他公共施設の所長会議を定期開催し、類似施設間の情報の周知・問題点・改善点を共有し、施設の問題対処の意識付けと改善を目指している。
- 2) 徹底した清掃。繁忙期には、女性スタッフの勤務時間を多くすることにより、女性脱衣所の定期的な清掃を可能とした。また休館日に、男性スタッフを出勤とし、普段できない箇所の修繕・整備・清掃の他、マレットゴルフ場の整備を定期的に行った。
- 3) 周辺の観光施設と連携したり、雑誌に掲載依頼を行って利用促進活動を行い、地域全体としての観光化と、施設の利用の促進を図ることで利用者・利用料収入の増加に結び付けている。
- 4) 無料送迎車の個別運行及び即時受け入れを継続して実施しており、臨機応変なサービスを行った。(老朽化のため、8月で終了)
- 5) 地元で取れた農産物、販売の充実に向け、提供者―施設―観光客に産物を通した発信と交流の場となるよう継続して取り組んでいる。
- 6) 利用時間について、利用者からの要望を受けて、コロナ禍で短縮していた浴室営業時間を夜8時までに戻した。

② 業務の効率化に対する取組み

1) コスト削減・業務の効率化に対する取り組み

- ・電灯、水道の節約、効率的なボイラー管理、空調の効率的かつ経済的な運営を利用者の協力を得て継続実施。
- ・日時点検の徹底により、不具合が深刻な状態にならないよう努めている。特に修繕で可能な箇所・除雪などは、必要に応じて可能なスタッフに協力を要請するなどして極力内部職員で行い、修繕スキルの向上と経費の削減に努めている。
- ・消耗品の節約及び業者依頼の場合の地域的に効率的な手配(関係づくり)を心がけている。一方では本部一括購入による経費削減も実施。

2) 効率的かつ意欲的な業務に向けての取り組み

- a) 下記点でのミーティングと報告(月報・随時)により、常に公共の施設で意識の向上をもてるよう環境づくりを行なっている。
 - ・効果的な運営のために行っていること(日常業務) ・利用者、地域に関する取り組みとその成果 ・新たな課題、取り組み目標 ・施設の各種点検と改善(修繕)箇所
- b) 福祉団体として内部で実施するスキルアップについて、積極的に職員に受講を呼び掛けている。

③ その他

- ・利用者層としては実質高齢者が多い現状があり、高い水準で維持してきた感染予防対策を利用者には予防の観点で継続いただくため、消毒や換気を中心とした対応を行い、一定の評価もいただいている。その他、入浴施設のレジオネラ菌対策、冬季のヒートショック対策、熱中症対策等についても例年同様、施設管理の重要ポイントとして館内でも貼り紙による呼びかけ、職員内での事例と対処の共有を行っている。
- 1. 日常業務の繰り返しに起因する「うっかりミス」「ひやりはっと」予防の為、原因・対策を相談・確認しあう共有の場の開催。盗難などの被害予防のため、チラシ配布による利用者への協力意識と職員での見回り強化を行っている。
- 2. 急病人に対する介護の意識の向上。自由に入浴が可能な公共施設であり、特に地元の高齢者については入浴時の湯あたり等の心身の異常事態に確実に対応するため、職員の見回り、呼びかけによる利用者の自覚を高める(長湯や体調不良時の危険性)など、事故を未然に防ぐことが大切であると考えている。
- 3. 地震など災害が発生した場合に備えての手順と緊急確認を行う意識の再確認。また、発生時の即座の施設の施設内外の点検の実施。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・あらゆる物価の高騰による運営経費の赤字が続いており、運営側の努力の域を超えている。(最低賃金の年々の上昇、水光熱燃料費他物価高の高騰)
- ・人件費において、年々上昇する最低賃金の補償をお願いしたい。限られた経費範囲内でのコントロールは当然ではあるが、人件費を含む物価高が年々上昇する半面、それに見合った委託料収入の確保がなく、目的に沿った施設運営を行っていくためには、現在の委託料では運営の継続は困難。
- ・事故予防のための即座の対応を常に心掛けているが、あらゆるパターンを想定したとき、施設の構造上の課題が多いこと。

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

- ・当該年度は、施設全体の利用者数は前年度とほぼ同数字であり、昨年、コロナ以前と比較して大幅に増えた利用人数水準を維持することができた。特に利用料(大人)を値上げしたため、利用料収入は前年度比114%増であるが利用人数においても同程度の水準を維持できたことは励みである。高齢者が多い地域密着施設として、今まで実施した衛生管理対応を継続下部分、かつ継続して行ってきた施設運営及び周辺に対してのお知らせなどの取り組みの行為に対して評価をいただいていることと感じている。
- ・施設の老朽化、不具合箇所などが目立ってきた箇所があるが、修繕箇所に対しての対応意識を持ち続け、外注に頼らず内部職員で修繕を継続して行ってきた。こういった職員全員で率先し、協同して行う取り組みは、利用者に与える雰囲気づくりの面で非常に重要だが、苦情に対しても受け止め共有し他人事としない環境を持続するうえで重要なことであると考えている。数値面でも前年以上の成果を残すことが求められるが、地域との連携、地域にとって必要な施設づくりとして、次年度以降の施設運営にむけての重要な基礎を築けたことは計画通りであり、よって上記の自己評価とした。

② 次年度以降の取組み

- 職員人員の効率的な配置の検討
- 継続した経費削減
- 販売品目の見直しと拡大
- 地域の要望に寄り添った日常運営と、観光客にとって魅力的な利用者サービス
- 上記サービスを効果的に宣伝する。
- 赤字運営としないための、物価高対策を観点とした運営内容と経費の見直しの協議